

重点プロジェクト (4)「おいしい信州ふード(風土)」認知度向上プロジェクト

【ねらい】

- ◇「おいしい信州ふード(風土)」を市町村や民間企業などと共有し、情報発信を行うとともに、観光事業者等と連携した『おいしい信州ふード(風土)』が食べられるお店』の質向上及び拡大により、認知度を一気に向上させ、消費と農畜産物生産の拡大を進めます。

目標指標	H22 基準年	H25 実績	H29 目標年
「おいしい信州ふード(風土)」SHOP	基準年 0店 〔参考〕H24 140店 (「おいしい信州ふード (風土)」が食べられるお店)	368店	800店

<施策の取組状況>

① 官民協働による取組の推進

- 官民協働により「おいしい信州ふード(風土)」の共有と発信を行うため、市町村、農業団体、食品産業、観光業等を対象とした説明会、懇談会を16回(延べ1,137名)開催しました。
- 農業者、食品業者、流通事業者等が「おいしい信州ふード(風土)」の趣旨や素晴らしさ、マーケティングのノウハウを学び、参加者自らが企画・運営し情報発信を行う「次世代信州農業マーケティングアカデミー」を11回開催しました。
- 地域ぐるみで「おいしい信州ふード(風土)」の取組を進めるため、推進役として55名の「おいしい信州ふード(風土)」名人を任命しました。
- 長野県とイオンリテール(株)との包括連携協定締結2年を記念し、県内9店舗のイオン店舗で「おいしい信州ふード(風土)」フェアを開催しました。(H25.10月)

② 「おいしい信州ふード(風土)」SHOPの拡大

○ SHOPの拡大・充実

- 『「おいしい信州ふード(風土)」が食べられるお店(H24年度登録)』などに働きかけを行い、「おいしい信州ふード(風土)」を自らが積極的に発信いただけるSHOPへの誘導及び新規開拓を進め、368店の「おいしい信州ふード(風土)」SHOPを登録しました。

○ SHOPの情報発信

- 県ホームページ「おいしい信州ふード(風土)」ネット等を活用し、「おいしい信州ふード(風土)」SHOP登録店を広く紹介するとともに、SHOPが行う情報発信(イベント等)のPRを支援しました。
- 消費者の皆様が「おいしい信州ふード(風土)」の情報を、より手軽に入手できるよう、スマートフォン向けアプリケーションの開発に着手しました。〔アプリケーションの提供開始:H26年度末(予定)〕

○ SHOPと産地の連携

- ▶ 「おいしい信州ふード(風土)」SHOPにおいて、大使・生産者の交流会を開催し、県産農産物に対する理解を深めるとともに、「おいしい信州ふード(風土)」を用いた新たなメニュー開発を支援しました。

＜今後の展開方向＞

- ▶ 官民協働により「おいしい信州ふード(風土)」の認知度を高めていくため、引き続き関係団体等への説明会、懇談会を開催するとともに「おいしい信州ふード(風土)」アカデミーにより、県民自らが信州産農産物の魅力を理解し発信する「おいしい信州ふード(風土)」の取組を支援します。
- ▶ メディアやキャラバン隊を活用した情報発信及び「おいしい信州ふード(風土)」SHOP登録店の拡大を進めます
- ▶ スマートフォン等端末向けのアプリケーションを開発により、若い世代の消費者層などへの発信力を強化します。
- ▶ 地域ぐるみで「おいしい信州ふード(風土)」の共有・発信を進めていくため、10広域に「地域推進協議会」を設置し、地域における農産物の栽培の歴史、地域の食文化を背景とした生産者の思いやこだわりなどを「物語」としてまとめ、旅館、飲食店、農産物直売所、学校などで広く活用します。
- ▶ 産業労働部や観光部と連携し、「おいしい信州ふード(風土)」を活かした商談会や旅行商品の造成により「おいしい信州ふード(風土)」の認知度を高めます。

TOPIX

県民自らによる「おいしい信州ふード(風土)」の情報発信【アカデミーの取組】

「次世代信州農業マーケティングアカデミー」では、農業者、食品業者、流通事業者等が「おいしい信州ふード(風土)」の趣旨や素晴らしさ、マーケティングのノウハウを学び、参加者自らが企画・立案・運営する発信活動を支援しました。

【参加者自らの主な発信活動事例】

○屋代南高校

「おいしい信州ふード(風土)」の趣旨を学びながら、コンビニエンスストアとともに、商品(弁当)開発から販売までを実施

○長野県製粉協会

県産そば粉と県産小麦粉を用いた、信州そば・うどん商品を開発し、パッケージに「おいしい信州ふード(風土)」のロゴを表記して販売

○JA厚生連佐久総合病院

地域の食材を用いて、健康食メニューを開発。新たな病院食として提供



【長野県製粉協会】

「おいしい信州ふード(風土)」信州そば・うどん